

※フランソン先生があいちゃんとのぶくんに聖書の話をしてくれる展開になっています。

- テーマ：ごめんなさい
- タイトル：ゆるされているから
- 目標：赦された者として許す
- 聖書箇所：マタイの福音書 18章 21－35 節
- 暗唱聖句：「互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたを赦してくださったのです」エペソ人への手紙 4章 32 節

導入 パワボ①

のぶ：あ～あ、やんなっちゃう。

あい：どうしたの？のぶくん。

のぶ：弟がさ、ボクのおやつを食べちゃったんだよ

あい：ひどっ。私のお姉ちゃんなんか、昨日、私の洋服を勝手に着て、遊びに行ったよ。

のぶ：へええ！お姉ちゃん、謝ったの？

あい：一応ね。でもこれで4度目。全然反省しているようには見えないんだよね。だから許したくない！

のぶ：その気持ち、よ～く分かる！

フラ：おー、のぶくん、あいちゃん、こんにちは。

二人：こんにちは、フランソン先生！

フラ：そうだ、二人とも、先週お願いしていた絵、描いてくれた？

あい：あ！忘れていました。ごめんなさ～い。

フラ：これで二回目だよ

のぶ；そうでした。本当にごめんなさい。来週こそはすてきな絵を描いてきます。

フラ：了解、楽しみに待ってるよ。そういえば、さっき何の話をしていたの？

あい：私、お姉ちゃんが何度も私の服を着るから許せないって怒っているの。フランソン先生、いったい何度許したらいいのかな？

フラ：聖書に同じような質問をした人がいるね。

二人：聞かせて、フランソン先生！

フランソン先生のバイブルストーリー パワポ②へ

あるとき、イエス様の弟子のペテロさんがイエス様に聞きました。「イエス様、友だちが私に悪いことをしてきたら、何度赦すべきですか。7回赦したらいいですか」「7回ではなく、7を70倍するほど赦しなさい」これは何度でも赦しなさいという意味です。「え～そんなに赦さなければならぬんですか」ペテロさんはビックリ。それからイエス様はひとつのたとえ話をしてくださいました。

パワポ③へ ある国の王さまの家来が、王さまに六千億円を借りていました。ある日、その家来を王さまが呼んだのです。「おい、お前は私から六千億円借りているな。今すぐ、返してもらいたい。もし返せないなら、奥さん子どもたちも財産をすべて売りなさい」

パワポ④へ 「王さま、お願いします。もう少し待ってください。どうにか返せるようにがんばりますから。家族だけは勘弁してください」「う～ん、分かった。かわいそうだな。もう借金を返さなくて良いぞ。赦してやろう」「え～本当ですか。ありがとうございます」

「いや～よかった。借金を赦してくれて、本当に良い王さまだな」

その時です。一人の友だちがそばを通りました。「お、ジョージじゃないか」「やあ、ジョン」

パワポ⑤へ 「お前に百万円貸していたよな。今すぐ返せ。オレはお金が必要なんだ」「もう少し待ってくれ。来週にはちょっとだけ返せると思うから」「そんなの無理に決まっているだろ。今すぐだ」「お願いだ。もう少し待ってください」「だめだだめだ。オレにお金を返すまで、牢屋に入っておけ」

パワポ⑥へ このことが王さまに知らされました。そして家来を呼んで言ったのです。「私が六千億円もの借金を赦してやったのに、お前は友だちを赦すことができなかったのか。私が赦してやったように友だちも赦してやるべきではなかったか」

さいごに パワポ⑦へ

フラ：どうだった？六千億円赦してもらったのに、百万円を赦してあげられなかった家来。何か残念なお話だよな

のぶ：自分も赦してもらったんだから、赦してあげたら良かったのにね。

あい：でも私たちも赦すって難しいよねえ。

フラ：二人はどれだけ赦されているかな？

のぶ：さっき、フランソン先生に赦してもらったし、失敗してもお父さんもお母さんも赦してくれる。

あい：あ、この間、イエス様は私たちの罪をすべて赦してくれたって、聞いた。

のぶ：そしてごめんなさいってお祈りすると、すぐに赦してくださるんだよね。

フラ：そうだね。私たちはたくさん、数え切れないほど赦されているよね。だから私たちも赦すことを天の父なる神様は願っておられるんだ。

のぶ：そっか～弟のことも赦そう。

あい：私もお姉ちゃんのこと赦してあげよう。

のぶ：でも何回でも赦せるかな。

フラ：赦せるように一緒にお祈りしよう。

二人：ありがとう、フランソン先生。

フラ：さあ、今日の暗唱聖句を一緒に読もう。

「互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです」エペソ人への手紙 4 章 32 節

<アクティビティ>

- ① 許せないことがあったら紙に書いてみよう。
- ② その紙を丸めて、神様に「ここに書いたことをすべて許します」と祈って、ゴミ箱になげよう。